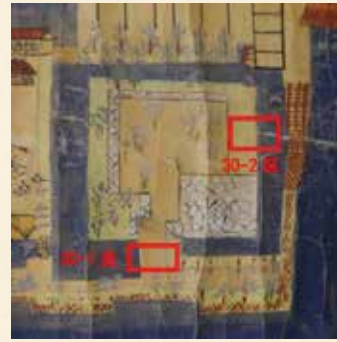


大溝城跡の発掘調査レポート

平成 27 年に「大溝の水辺景観」が国の重要文化的景観に選定され、その主要構成要素である大溝城遺跡の本丸跡の調査が継続して行われてきました。今年度は古絵図から想定される本丸と二の丸をつなぐ本丸虎口の土橋と、本丸東端の石垣ラインの確認を目的として2箇所（30-1 区、30-2 区）が調べられました。



「大溝城下古図」より一部抜粋

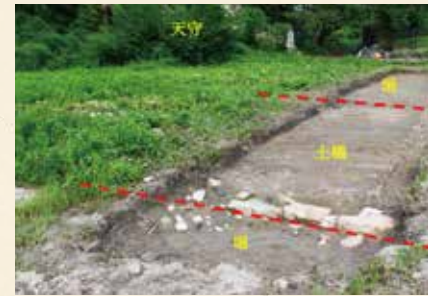


平成 30 年 10 月 13 日に行われた現地説明会の様子

1. 30-1 区の調査結果

絵図に描かれた本丸虎口の南側に位置する土橋の存在を初めて確認することができました。本丸から二の丸にかけて、幅約 7 mの土橋がかかり、石垣などが残ることが判明しました。

1. 30-1 区



2. 30-2 区



2. 30-2 区の調査結果

本丸東端部の石垣の存在が確認できました。後世の改変ため、石垣は大きく崩されていることが判明しました。築城時の本丸東端を示す石垣ラインは確認できませんでしたが、本丸東側の石垣が、絵図に描かれたように天守台東側の石垣を延長したところに存在することが明らかになりました。

現在開催中

平成 30 年度秋季特別展 「大溝藩と分部氏～城下町の 400 年」

開催日時 11/25 (日) まで 9:00～16:30 場所 藤樹の里文化芸術会館 展示室 1

展示内容 大溝の発掘成果 / 分部氏の藩政 / 城下の暮らし / 大溝祭 / 体験コーナー 入場料 無料

江戸のはじめから明治の初めまで変わることなく約 250 年続いた大溝藩。この大溝藩を開いた分部家に関する資料や大溝祭をはじめとした城下の暮らしを紹介します。

特別展関連講演会 「大溝藩と分部氏～城下の暮らしと大溝祭」 要予約

開催日時 11/25 (日) 13:30～16:15 場所 藤樹の里文化芸術会館 ホール

日程 13:30～14:25 講演会 1 演題「城下町の形成と大溝藩」 講師 八木 淳氏 (草津市草津宿街道交流館館長)
 14:30～15:20 講演会 2 演題「大溝祭と町人文化」 講師 木津 勝氏 (大津市歴史博物館学芸員)
 15:30～16:15 よもやま話 演題「一期一会 大溝から学んだこと -40 年-」 講師 白井 忠雄氏 (高島歴史民俗資料館学芸員)
 ※講演終了後、白井氏と文化財課職員による特別展の解説案内があります。

料金 2000円 (資料代)

問合せ・予約先 高島歴史民俗資料館 (月・火休館)

電話 0740-36-1553 FAX 0740-36-1554 メール shiryo@city.takashima.lg.jp

主催：高島市教育委員会

制作・発行：大溝の水辺景観まちづくり協議会

設立年月：平成 27 年 4 月

構成：会員 20 名
 オブザーバー 高島市役所高島支所
 高島市教育委員会文化財課
 高島市役所観光振興課

活動目的：重要文化的景観「大溝の水辺景観」を活かした地域振興

所在地等：高島市勝野 1688 「大溝まぢ並み案内処 総門」内
 TEL 0740-36-2011 FAX 0740-36-2012
 MAIL oomizo.mizube@gmail.com

編集後記

「大溝の水辺景観」は平成 27 年に国の重要文化的景観に選定されました。地元の方にとっては当たり前存在している、城下町の建物や町割り、水を巧みに利用した生活や生業、大溝祭など、江戸時代に端を発する有形・無形のものたちに、他所から来られた方は何とも言いえない安らぎを感じられるようです。

古来から継承されてきた生活文化、生業、信仰などを背景とする、厚みのある文化的景観がそこかしこにある高島市は、「インスタ映え」ブームが去ってからこそ真価を発揮し、これからますます稀有な存在になる地域だと感じている今日このごろです。(U)

09
2018.11

重要文化的景観「大溝の水辺景観」から発信する活動広報紙

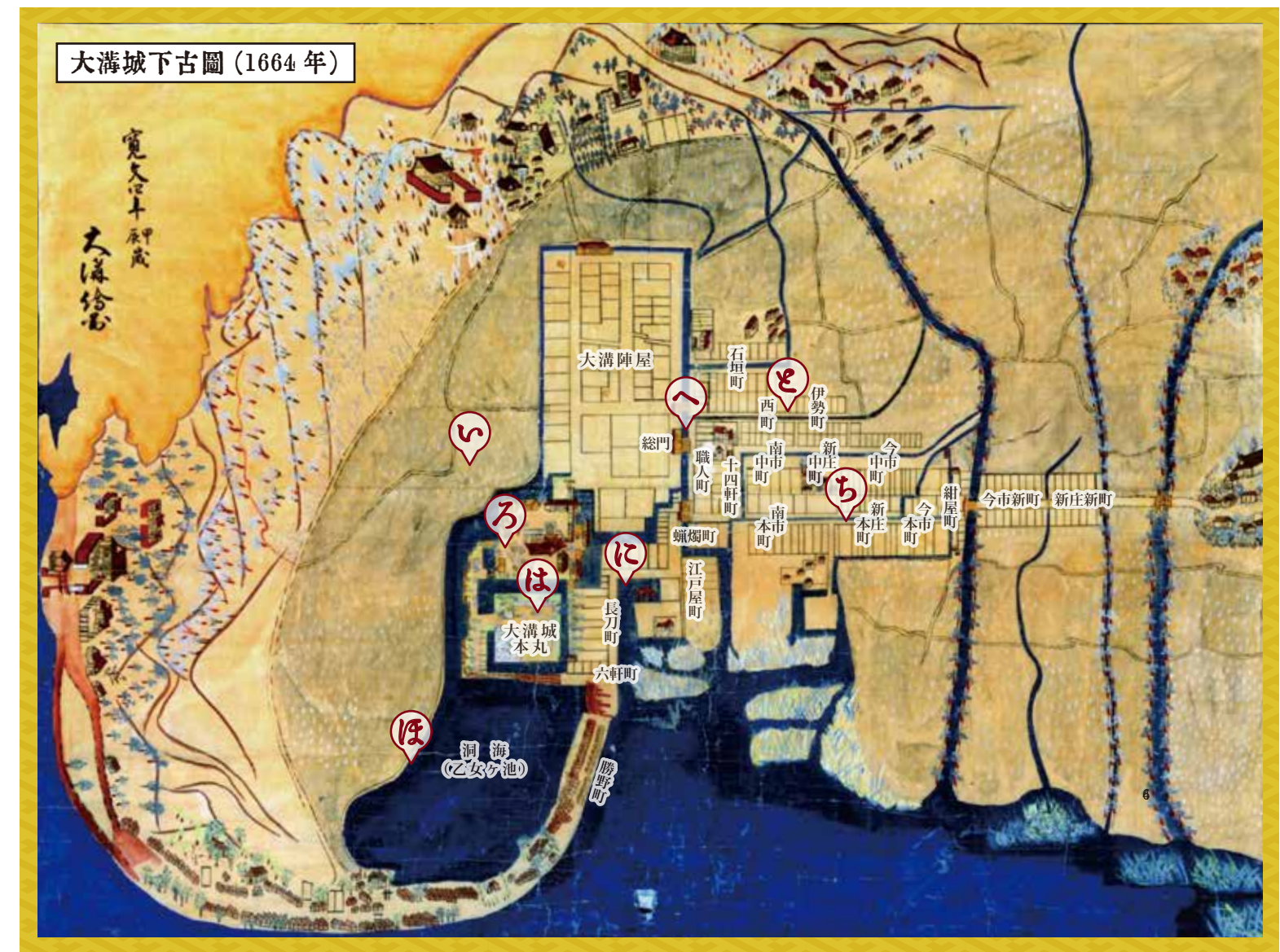
おおみぞこみぞつりん



「大溝藩開藩 400 周年記念」号

大溝藩の始まりは、1619年に伊勢国上野（今の三重県津市）から分部光信というお殿様が、この地に大溝藩主として入封したことが始まりです。その年から数えて、来年 2019 年は 400 年めの節目の年です。

分部光信は、戦国時代に織田信澄が整備した大溝城下を基盤として、さらに軍事・経済両面を備えた近代的な城下の整備に力を尽くしました。この当時の町割りがほぼ同じ形に今に残されています。町割りだけでなく、大溝祭を始めとした町人文化も人から人へと、江戸時代から脈々と受け継がれてきました。本号は大溝藩の始まりから 400 年を記念して、過去と未来をつなぐ「大溝の今」を特集したいと思います。



分部家は戦国期には伊勢国安土郡上野を拠点とした長野家に仕えていました。本能寺の変のあとは羽柴豊臣秀吉に仕え、関ヶ原の戦いでは東軍に属し、戦後一萬石から二萬石を領することとなりました。元和五年（一六一九）、近江国高島郡大溝二萬石に移ることとなり、その後二代、二五〇年に渡り大溝を領し、明治維新を迎えます。明治二年（一八六九）、分部光信は、版籍を奉還し大溝藩知事に行じられます。明治四年、光信の跡を継いだ立憲は、藩政にともない免官となり、その後子爵となります。

い JR 近江高島駅

昭和 2 年に開通した江若鉄道大溝駅廃線後、湖西線近江高島駅ができた。

ろ 高島市民病院

病院の駐車場は、大溝城の二の丸、三の丸跡辺りと推定される。

は 大溝城天守台跡

天正六年 (1578) に築城。平成 8 年に町の史跡指定を受けている。

に 大溝港

江戸時代、大溝港は高島南部の新炭・米穀を京、大坂へ運ぶ拠点として賑わっていた。現在は埋め立てられ、小さくなっている。

ほ 乙女ヶ池・太鼓橋

古くは洞海、裏海等と呼ばれていた。平成元年に木製の橋が架けられた。

へ 総門

大溝陣屋関連唯一の建物。現在はまちづくりの拠点として使われている。

や 西町通

▲大正 4 年の本町通(御遠忌要のの様子) ▲昭和 55 年の西町通

ち 本町通

河川改修により中町通・西町通の水路からカワトがなくなった。本町通の水路は昭和 2 年に暗渠になった。



2018年大溝祭の様子

いざ、町衆の力を結集し、400年の伝統を未来へつなぐー

湖西唯一の曳山を誇る大溝祭は、日吉神社例大祭として、城下町大溝の町人たちの富と高度な文化的教養を集約し創り上げられた伝統ある祭です。大溝祭の起源は、分部侯が大溝藩主として入封した際、前任地伊勢上野の祭礼を移したとも言われていますが定かではなく、当初は現在のように立派なものでもなかったと思われます。江戸時代より長きに渡り、私達の先人の努力のおかげで継承されてきた大溝祭は、いよいよ来年400周年の節目を迎えます。

代表からのご挨拶

平成30年度 勝野第二区区長・大溝祭保存会会長
上野 真

私は大溝にある流泉寺で住職をしておりますが、私どもの寺は1619年、分部家が伊勢上野から移封のときに、檀信徒とともに大溝の地に移りました。それからちょうど400年にあたる年に、大溝祭保存会会長を拝命しましたのも何か特別なご縁と感じております。

400周年を記念して、大溝祭をさらに魅力的なものにしようと、現在「大溝祭400周年記念事業実行委員会」が中心となって計画を進めています。毎年この祭に携わってくださっている方だけではなく、広く高島市内外からも多数参加してもらえ祭にしたいと考えております。曳き手ボランティアや当日のスタッフとしてのご参加をお待ちしております。また見学だけでも大歓迎ですので、どうぞ皆様お越しください。

大溝祭400周年記念事業実行委員会委員長
田中 康彦

大溝祭400周年の節目という歴史的な瞬間に立ち会えることを、大変素晴らしいことで誇りに思います。一方で、近年社会の変化もあり、祭に対する人々の関心は低下傾向にあり、また数年前から旧大溝地区でも過疎化・少子高齢化の波が容赦なく押し寄せ、各山組では、曳山の保存及び囃子の継承そして祭の運営が困難な時代となり、並々ならぬ苦労もあることから、新たな歴史の始まりでもあると痛感しています。

そこで400周年を迎えるにあたり、今一度、大溝祭への誇り、旧大溝地区の素晴らしさを再認識すると共に、私達の故郷高島の発展の足がかりになるよう大溝祭を立派に守り、皆様とともに盛り上げて行くことが、私達に課せられた使命であると言っても過言ではないと思っています。どうか400周年記念事業が成功しますよう、そしてこの素晴らしい大溝祭を後世に継承していけますよう、皆様の御協力・御支援を賜りますよう切にお願い申し上げます。

大溝祭400年めを飾る事業紹介

3つのテーマをかかげ、大溝祭400周年を記念する様々な事業を計画中です。その一部を紹介します。

交流広場の開設、
特別さじき席の設置 など

大溝城とゆかりのある水口岡山城バルーンを囲み、参加者の皆様に休憩や食事のできる広場を用意します。また総門前と日吉神社に、五つの曳山が並ぶ姿を観覧いただける特別さじき席を設置します。子どもたちも楽しい露店も並び、かつての大溝祭の賑わい復活を計画しています。



※写真はイメージです

ドキュメンタリーDVDの作成、
曳き手ボランティアの募集 など

将来に記録を保存し伝承するため、ドキュメンタリーDVDを作成します。完成時にはDVD上映会を開催し、子ども会など地域団体のふるさとを学ぶ活動などにも広く活用いただくことで、大溝祭を後世に引き継ぎたいと考えています。また、五基の曳山の曳き手ボランティアを広く募集し、地域問わず多くの方に曳山巡行に参加していただく予定です。曳き手ボランティアの方には大溝祭の法被を貸与し着用いただきます。

昔のにぎわいを
取り戻す事業

情報発信

記念事業

伝統文化の
継承事業

最新情報は
こちらで発信します!

大溝祭公式サイト
<https://oomizomatsuri.jp>
【大溝祭】で検索してください

お城バルーンの設置、
記念グッズの開発 など

大溝城の廃城後、解体された天守の部材が転用されたと伝えられる「水口岡山城」(甲賀市水口町)の巨大バルーン(高さ11m)を「一般社団法人水口岡山城」様から借り受け設置します。大溝祭開催日の5月3日・4日限定の設置で、宵宮の日にはライトアップを計画しています。また、限定の日本酒や和菓子の開発、オリジナル手ぬぐいや木札の作成、曳き手ボランティア用法被の作成などを計画しています。



曳き手ボランティア・当日スタッフの募集

来年5月4日の大溝祭本祭に、町衆と共に一日曳山を曳いていただける方、また観光案内やお客様の接待などの裏方業務をお手伝いいただける方を募集しています。お問合せは下記の大溝祭400周年記念事業実行委員会事務局までよろしくお願いいたします。

お問合せ 大溝祭400周年記念事業実行委員会事務局
大溝の水辺景観まちづくり協議会 TEL 0740-36-2011 FAX 0740-36-2012

ご寄付のお願い

大溝祭保存会および大溝祭400周年記念事業実行委員会では、来年400周年を迎える大溝祭にて上記に掲載していますような様々な記念事業を予定しています。つきましては、その活動経費の一部についてご寄付をお願いいたしたくお願い申し上げます。ご寄付者のご芳名は「総門」に掲示させていただきます。左記のお問合せ先(大溝祭400周年記念事業実行委員会事務局)までご連絡をいただきますと担当者がお伺いいたします。また下記口座にお振込みいただきましても幸いです。何卒ご支援の程、よろしくお願い申し上げます。

【寄付期間】 2018年11月15日(木)~2019年5月7日(火)
【振込先】 滋賀銀行 高島支店 普通預金 口座番号 301476 口座名義 材ミヅ マリヨルキヤクシュウケンネンギョウカ ヲコウインカイ
※お振込みの際は、ご連絡のつきやすい電話番号(ハイフン不要)を振込人名の前に必ずつけてお振込みください。